

留学体験レポート

国際文化学科 2年 乙美穂

私は9月3日から12月23日まで韓国にある慶熙大学に留学してきました。私は韓国に行くことが初めてでした。さらに自分の身の回りのことを全部自分でやらなければいけないということもあり生活していけるか不安でした。しかしこの留学という制度に参加して自分自身成長したいと考えたので留学に参加しました。

韓国に行き最初のころは買い物をするにも韓国語を聞き取ることができなくて本当に大変でした。また毎日のご飯も朝は前もって買い物をしておかなければいけなく、夜も何を食べるか考えることも意外と大変でした。特にご飯は日本とは違い辛い食べ物が多いため自分が食べられる物を食べるができる食堂などを探すことも大変でした。しかし、慣れたころには行きつけの食堂もでき、おいしく食事ができました。

大学の授業は最初の3週間は短期コースで日本の大学で勉強したことの復習などでした。最初の授業から難しくなかったことは、韓国の生活に慣れるまでにも、また韓国語にも慣れるために良い期間でありました。また3週間コースは日本人がクラスのほとんどであったためクラス内での会話は日本語でした。3週間の短期コースの後はレベルごとにクラスに分かれての授業でした。その授業は日本人以外の国の人も一緒に授業をするためクラスの友達と話す言葉も韓国語でした。授業は新しく学ぶことばかりでした。またこの期間の韓国語の授業では2回テストがありました。テストは筆記とクラスの人の前で韓国語を使い会話をするというものと先生との会話でした。筆記は日本でもこのようなテストの形式なので慣れていましたが会話のテストは慣れていないため、最初は緊張しました。しかしこのようなテスト形式でテストを受けたことによって自分の韓国語能力の伸びを知ることができたのでよかったと思いました。大学の授業以外では大学から一人一人につくとうみが韓国語の勉強の手伝いをしてくれました。また、私はとうみと一緒においしいご飯べたり、自分では行くことが難しい少し遠い観光地に連れて行ってもらいました。そしてこのとうみとはよく連絡を取る友達になれました。

今回の留学で感じたことは飛行機ですぐ行くことができる国と国でも違うことはたくさんあるということです。韓国に行く前から韓国の料理は辛いことを知っていて、また聞いていたので覚悟はしていましたが思っているより辛いものでその料理を普通に食べている人を見た時は本当に驚きました。また韓国の料理には何にでもキムチが付いていて面白いなと感じました。このような発見が出来たのも留学に行きたくさんのものを見て、体験したからだだと思います。この留学によって自分の考えも広くなりとてもよい経験になりました。またこれからも自分を成長させるためにもいろいろなことに挑戦していきたいと思います。